

## 船舶事故調査報告書

平成29年10月18日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岩場）
発生日時	平成28年11月12日 05時00分ごろ
発生場所	山口県萩市大島北西岸の岩場 萩大島港赤穂瀬南防波堤灯台から真方位335° 1.1海里付近 （概位 北緯34° 30.4′ 東経131° 24.2′）
事故の概要	瀬渡船ののちゃん丸は、岩場に接近中、船首部の乗降用タラップが岩場に衝突した。
事故調査の経過	平成29年6月7日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	瀬渡船 ののちゃん丸、4.6トン
船舶番号、船舶所有者等	270-34646山口、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船首部の乗降用タラップが破損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 3、視界 良好 海象：うねり 波向北西、波高約0.5～1.5m、波高 約0.3m、潮汐 上げ潮の中央期、潮高 約34cm（萩） 日出時刻：06時45分
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣り客4人を乗せ、大島北西岸の岩場に向かった。 本船は、船長が、手動操舵により船首を南東方に向けて主機を中立運転とし、前方の岩場をサーチライトで照らしながら僅かな前進行きあしで接近していたところ、船尾方から約1.5mの北西波を受けて前進行きあしが増したため、直ちに全速力後進としたものの、船首部の乗降用タラップが岩場に衝突した。 本船は、本事故後、萩漁港中小畑岸壁に帰港した。 船長は、本事故当時、気象及び海象の予報を調べていたが、これらの情報から約1.5mの北西波が発生することを予想できなかった。
分析	本船は、大島北西岸において、僅かな前進行きあしで岩場に接近中、船尾方から約1.5mの波を受けたことから、前進行きあしが増し、主機を全速力後進としたものの、船首部の乗降用タラップが岩場に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、大島北西岸において、僅かな前進行きあしで岩場に接近中、船尾方から約1.5mの波を受けたため、前進行きあしが増し、主機を全速力後進としたものの、船首部の乗降用タラップが岩場に衝突したものと考えられる。